

予告

好評発売中  
既刊

# 読売新聞の書評面に掲載！

9月27日(日)付の朝刊で、一番大きく載ります。

書評はサントリー学芸賞受賞の京都在住の木琴奏者・通崎睦美さんが書いて下さいます。

◎ 時間がありませんので、ご希望の書店さまには直送(送料弊社負担)もさせていただきます。

# 京都に女王と呼ばれた作家がいた ~山村美紗とふたりの男~

著者: **花房観音** 判型:四六判上製 228P / 本体価格:1,500円+税  
ISBN:978-4-908443-52-7



第二次世界大戦で心身ともに病み、高度成長とともにベストセラー作家としての地位を積み上げ、1996年、日本で一番本が売れていた年に執筆中に亡くなった山村美紗の生涯は、日本の歩み、出版業界の歩みともリンクします。

美紗さんのパートナーは長らく西村京太郎さんだと思われていました。しかし、葬儀に喪主として突然現れた、夫。嫉妬心にかかれながら、美紗さんを支え続けた二人の存在が、毎月発売される新刊の執筆を支えていました。

## 花房観音 について

兵庫県豊岡生まれ。2010年に『花祭り』で団鬼六賞大賞を受賞し作家デビュー。著書に『寂花の乗』『花祭り』『萌えいづる』『女坂』『楽園』『好色入道』『偽りの森』『花びらめくり』『うかれ女島』『どうしてあんな女に私が』『紫の女』など多数。

京都に住み、京都を描き続けたミステリーの女王・山村美紗の生涯を、京都に住み、京都の女を描き続ける花房観音が描きます。

FAXでのご注文  
(受注センター)

FAX: **06-6310-7057**  
(TEL: 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202  
HP: [www.jimotonohon.com/](http://www.jimotonohon.com/)  
●発行/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	京都に女王と呼ばれた作家がいた ~山村美紗とふたりの男~		<input type="checkbox"/> 直送希望(仮伝票)	ご担当
				直送をご希望の書店様はチェックをお願いします	様
				注文数(注文品)	日付
		■著者:花房観音	■判型:四六判上製 228P	冊	
		■本体価格:1,500円+税	■ISBN 978-4-908443-52-7		
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057 ■発売/西日本出版社 2020.09.DM					